

# 大本大阪本苑だより

## 救主様の神盃とともに

### 大阪本苑秋季大祭を執行

10月にも拘わらず季節外れの30度を超える真夏日の中、阿比留健次梅松苑総務管理部長を迎え大阪本苑秋季大祭が10月9日(日)執行された。祭典は、伶人入殿、祭員入殿、祓式行事、齋主拝礼、献饌と続き齋主伊藤忠茂本苑長による秋季大祭祝詞奏上、世界平安全祈願祝詞並びに新型コロナウイルス早期終息祈願祝詞が奏上された。玉串捧奠は、齋主、阿比留健次総務管理部長、小島淳内事主任、宣伝使代表、分所支部代表等が敬虔に捧げ、感謝祈願祝詞、讃美歌斉唱へと進み、続いて乙姫様礼拝を終え祭員・伶人退殿。神門明子参事による「おほもとしんゆ」拝読。祭典後二弦の会による八雲琴「天津乙女」の奉納があり、続いて本苑長挨拶では、「本日は、感染予防対策を継続しながら、阿比留健次先生をお招き

し皆さまと共に秋の大祭に清々しくお仕えさせていただきました。昨日より、教主さまの「作陶選展」を開催させていただき引出黒をはじめ55盃を歓迎の家で展示させていただいております。来年の令和5年は、エスプレント採用、道院提携1000年・令和6年は、聖師様ご入豪、ブラジル宣教1000年・令和7年は、人類愛善会設立、世界宗教者連合会1000年と、歴史的にご神業が飛躍的に発展してから1000年という、令和のみるくの3カ年がスタートします。そのようなことから、海外展から半世紀後に教主さまの「作陶選展」を、全国に先駆けて大阪でさせていただくことは、令和のみるくの年の幕開けとして神さまの何か深い思い召しがあるのではないかと感じております。世の中はコロナ禍により、経済も人の心も疲弊しております

が、教主さまは瑞生大祭のご挨拶で「私たち一人一人が閉ざされた心の岩戸を開いて、愛善の種を蒔くことが大切です。種を蒔くということは、困難を乗り越え明るい希望に満ちた世界へ行くための行動をすることです。たとえどんな小さいことであっても、一人の勇氣ある行いが今の世の中を変えていきます。一人では困難な時は、みんなで力を合わせて協力すれば必ず良い方向に進んでゆくことが出来ます。天の時、地の利、人の和を得て、理想とする未来に向かってそれぞれが身魂を磨き、老いも若きも善き言葉、善き行い、善き型を、どんどん発信してまいります。」とご教示のとおり私たち信徒の意識の改革が求められており、奇しくも来年は岩戸開き1200年の年に当たります。皆さまと共に大阪から良い型を出していきたいと思っております。教主さまの御手により開教以来の教えの根本である火と土と水のご恩への感謝が吹き込まれた神盃を通じて、ご神徳がいただけますようゆくりと拝観していただきますようお願いいたします。また、明日は休日ですので15時まで、「作陶選展」は開催しておりますので、お知り合いの方にお声をかけていただき多くの方々の拝観をお待ちしております。そして直会后に、梅松苑総務管理部長・みろく村織工房技師の阿比留健次先生より「教主さまの芸術」と題しまして大祭記念講話をしていただきますので、奮って拝

聴ください。今月も多くの冠沓句のご投稿ありがとうございました。後程表彰式をさせていただきます。引き続き讃美歌の裏に稿題を記入しておりますので奮って投稿をお願いいたします。来月も多くの皆さまと共に参拝できますように、引き続きコロナの終息並びにロシアとウクライナの軍事紛争が一日でも早く終息しますように祈願祝詞の継続をお願いいたします。」と述べた。その後世界連邦ポスター作文コンクールの表彰、冠沓句の表彰では目塚分所の内藤義雄氏に記念品が手渡された。続いて水田良司編集部長によるお知らせがあり、久しぶりの直心会手作りの直会后、阿比留健次梅松苑総務管理部長による「教主さまの芸術」と題し大祭記念講話を拝聴し散会となった。参拝者155人



修祓

「秋季大祭祝詞」奏上

玉串捧奠 (阿比留健次総務管理部長)

玉串捧奠 (参拝者代表)

「感謝祈願祝詞」斉唱

「おほもとしんゆ」  
乙姫様礼拝

三絃の会による奉納「天津乙女」

世界連邦からの感謝状授与

冠沓句の表彰

玄関祓



秋季大祭

「講話要旨」教主さまと芸術について」梅松苑総務管理部長・みろく村織工房技師 阿比留 健次 先生

教主さまは歴代教主様から続くこの大本の道を継がれるとともに大本窯芸道場(現鶴山工房)を平成17年に再開設されました。当初この窯芸道場は聖師様ご昇天後、昭和26年に二代教主さまが三代教主さまに聖師様の耀盤の道を引き継いで欲しいという思いで建てられたものです。その翌年の平成18年に「つる山みろく村」を開村されました。教主さまが村長をされる山農園を開設され、作陶を始められました。最初は市販の土や釉薬で作陶されていましたが、みろく村で作陶に適した土をみるく土と命名され「宝は内にあり、足元にある」とご挨拶でも述べられております。教主さまは平成19年富士山に登拝され、富士山本宮浅間大社で弥仙山金峯山の土、三代教主さまの発見された木の花桜の枝を灰にして釉薬を作り作陶されたお茶碗「富士」でお献茶をされました。また同じ作陶時に渦巻が現れてきたお茶碗「鳴門」や翔ける馬のような模様が見えた「天馬」など不思議なことが多く見受け

「講話要旨」教主さまと芸術について」梅松苑総務管理部長・みろく村織工房技師 阿比留 健次 先生

教主さまは歴代教主様から続くこの大本の道を継がれるとともに大本窯芸道場(現鶴山工房)を平成17年に再開設されました。当初この窯芸道場は聖師様ご昇天後、昭和26年に二代教主さまが三代教主さまに聖師様の耀盤の道を引き継いで欲しいという思いで建てられたものです。その翌年の平成18年に「つる山みろく村」を開村されました。教主さまが村長をされる山農園を開設され、作陶を始められました。最初は市販の土や釉薬で作陶されていましたが、みろく村で作陶に適した土をみるく土と命名され「宝は内にあり、足元にある」とご挨拶でも述べられております。教主さまは平成19年富士山に登拝され、富士山本宮浅間大社で弥仙山金峯山の土、三代教主さまの発見された木の花桜の枝を灰にして釉薬を作り作陶されたお茶碗「富士」でお献茶をされました。また同じ作陶時に渦巻が現れてきたお茶碗「鳴門」や翔ける馬のような模様が見えた「天馬」など不思議なことが多く見受け

「講話要旨」教主さまと芸術について」梅松苑総務管理部長・みろく村織工房技師 阿比留 健次 先生

教主さまは歴代教主様から続くこの大本の道を継がれるとともに大本窯芸道場(現鶴山工房)を平成17年に再開設されました。当初この窯芸道場は聖師様ご昇天後、昭和26年に二代教主さまが三代教主さまに聖師様の耀盤の道を引き継いで欲しいという思いで建てられたものです。その翌年の平成18年に「つる山みろく村」を開村されました。教主さまが村長をされる山農園を開設され、作陶を始められました。最初は市販の土や釉薬で作陶されていましたが、みろく村で作陶に適した土をみるく土と命名され「宝は内にあり、足元にある」とご挨拶でも述べられております。教主さまは平成19年富士山に登拝され、富士山本宮浅間大社で弥仙山金峯山の土、三代教主さまの発見された木の花桜の枝を灰にして釉薬を作り作陶されたお茶碗「富士」でお献茶をされました。また同じ作陶時に渦巻が現れてきたお茶碗「鳴門」や翔ける馬のような模様が見えた「天馬」など不思議なことが多く見受け

られます。そこから、教主さまのお作品の「土」「釉薬」はすぐ複雑になってまいります。喜界島宮原山の土と金宇松の釉薬で「姫金神」を作陶されました。平成22年教主さまは奈良の橿原神宮に正式参拝され、その後大和三山を登拝され、平和祈願と献茶をされ、菓子器として亀岡月の輪の船岡山土にカスミザクラの釉薬(大正5年に聖師様が六和三山を登拝された時に神島の発見の由来となった舎利骨が月の輪台にあったみろく塔の下に秘め置かれ、今はカスミザクラが植えられています)で作られた香合に金平糖を山盛り盛られお供えされました。教主さまが約100年後に大和三山、橿原神宮を参拝され、お献茶されたことをきっかけに「なにはづ」大和・高砂の歌祭りが開催されました。平成23年に東北復興の祈りを込められた「希望の光」は、四代教主さまゆかりの釉薬で作陶され大変綺麗な琥珀色の玉垂れが現れました。平成27年には様々な土と様々な釉薬で作陶されるようになり、人類愛善会モンゴルセンター1発足10周年記念感謝祈願祭では「大和合」イタリアのバチカン市国ご神教、大本口マ支部設立報告祭には「世界平和」を作陶された献茶をされました。教主さまのお茶碗で有名なのが、引き出し黒茶碗です。もともと瀬戸黒という技法で鉄分の多い釉薬で焼き、窯から熱いうちに引き出し、水につけるといった技法です。二代教主さまゆかりの鉄分を多く含んだ梅松苑金龍海の鉢泉で釉薬を作り、窯から引き上げた時には真っ黒のものが翌日には金色が日ごとに現れる奇跡の茶碗です。平成元年に敵の郷を開村にならぬ「敵の郷」「産井」は内側と外側それぞれ違う開祖様ゆかりの釉薬を使われています。瑞泉苑にちなんでお茶碗「玉の井」これも聖師様ゆかりの土、釉薬を使って作られています。つる山みろく村は「つる山窯芸道場」「つる山おり工房」「つる山農園」この3つがあり、農園で糸染めの染料用の植物を作り、おり工房で糸染めをし、窯芸道場で使用した植物を灰にして釉薬として

使用します。これにお湯をかけるとアク(強アルカリの水)がでけ、おり工房で染色用の素材として使用できます。灰を作る時の炭や砂は農園で使用し、農園からはみろく土がでけ、それを使用する。すべてが無駄なく循環できています。教主さまは、お筆先にあるように、誰一人つづばに落とさんぞよ、虚しくさせないで何かの御用に役立つように。お筆先の精神が、まさにお作陶や芸術に祈りのお気持ちが現わされているように思います。



限定公開中



講話される 阿比留健次先生

### 教主さま「作陶選展」開催

10月8日(土)〜10日(月・祝)迄の3日間、「歡ぎの家」を会場に、教主さま「作陶選展」が開催された。教主さまお許しのものと、地方機関での先駆けの「作陶選展」開催となった。会場には、当初のお茶わん「かんがらたまちはへませ」をはじめ、54点のお茶わん、1点の香合が並べられ、お軸は大坂本苑所蔵の、教主さま作、一梅で開いて松で治める「〇」が掛けられた。ひとつひとつのお茶わんに込められ教主さまのお心や、釉薬、土の説明、お茶わん誕生までのエピソードを、来場者一同、熱心に拝聴した。作品展は夜も開催され、鉢泉引出し黒3点のお茶わんは、薄明りの照明の中ますますその輝きを増し、まるで、教主さまにご面会いただいたかのような時を過ぎました。作品展は10日の午後3時、無事終了した。名残りを惜しむ本苑を後に、教主さまのお作品は綾部へとご帰還になった。



限定公開中

### 教主さま「作陶選展」感想文40代男性

普段はなかなか拝見させて頂くことが出来ないお作品を目の前で拝見させて頂くことが出来感動しました。特に夜に照明を消してLEDライトのみでの拝見は視界に他の景色が入らずお作品が浮き立って感じられ吸い込まれるような感じをうけました。その中でも鉢泉引出黒茶盃の釉薬がはがれて失敗作だったものに魅力を感じました。作陶選集の本ではわかりませんが、実際のお作品を見ると失敗も成功と言わんばかりに他のお作品には無い失敗だらけこそとも自己主張のあるお作品で感じられない実際の作品を拝見できき感無量でした。

### 10月乙姫様月次祭執行

日に日に秋が深まってきた10月22日(土)午後一時より齋主 水田千寿、祭員 宇佐美紀久子・山崎千代・矢野美弥子、伶人 小野なおみ・西野萩枝各氏により清々しく執行された。末廷哲子・前田恵利子各氏は、つるかめ抄「教育編」を拝読。参拝者55人。祭典後は本苑長不在の為、教主さま「作陶選展」を無事終了された事のお礼を水田千寿連合会長が伝え、お知らせでは11月19日の緑寿館献勞奉仕のお願いと、令和5年度節分大祭・瀬織津姫の奉仕の募集、乙姫様月次祭の神饌物係の人数が少なくご協力をお願いただける方をお願ひいたしました。芸術部より教主さま「作陶選展」の皆様方のご協力と多くの方に来場いただいた。たお礼が述べられた。又、遊休品バザーも開かれ直心会手作りの大豆水煮・昆布大豆煮をご用意して献金のご協力を頂きました。秋の一日を楽しまし過ぎた。散会となりました。



「乙姫様月次祭祝詞」奏上



乙姫様月次祭

### なにはづ短歌会報告

第130回なにはづ短歌会は、都合により休会とし、浅田弘子先生に添削のみして頂きました。出詠者16名、詠草32首(10月の詠草より)(敬称略)

大城 信香  
紀の国のみかん山にて草刈れば  
ハタオリバッタの突然飛び立つ

島村 直子  
百日紅の花の散りばふ道をゆく  
義母の畑へ鋤を担ぎて

短歌会は毎月本苑月次祭の前日の土曜日午後1時より開催しています。詠草は本苑にお送りください。

### 本苑祭式講習会・

### 葬祭研修会開催報告

大阪本苑秋の祭式講習会が10月29日(土)30日(日)の両日開催された。本部より小敷資史祭課主事をお招きし、祭式8名・葬祭13名・係員5名の参加で行われ、29日午前9時より伊藤香次長の挨拶で始まり午前中は基本動作、午後からは月次祭まで行い夕拝後小敷資史先生による講話「まつりについて」を拝聴した。30日は午前9時から「歡ぎの家」での祭式講習会と並行し、ご神前で葬祭研修会を会場の飾りつけからエピソードを共有しながら実践形式のリハーサルまで行い研鑽を深めた。今月も本苑管下で葬祭があり待ったなしの状況であり、今後とも家庭や分所支部での日々の礼拝・月次祭の厳修と合わせ、後継者育成のため積極的な参加を引続きお願い致します。



祭式講習会



葬祭研修会

### 松山だより

松山ご奉仕は、第1、3、5土曜日と本苑月次祭前の木曜日の午前9時に大阪本苑から出発します。  
 (天候、その他により中止の場合があります。)



10月15日の記念写真

次回は11月19日(土) 来月は12月3日(土) 6日(火) 17日(土) 奮ってご参加ください。 大阪本苑誠心会

### 霊界物語全国一斉拝読会報告

去る10月18日(火)午後19時より全国一斉霊界物語拝読を執り行わせて頂きました。大阪本苑の物語拝読者総数は579人(一般52人、青年19人、少年8人)ご協力ありがとうございました。 大阪本苑青年部

### 開祖大祭選擇祭報告

11月6日(日)午前10時より大阪本苑において開祖大祭選擇祭が野口昌則斎主のもと厳肅に執行された。参加者4人

### 第10回「令和4年生きがい公開講座」配信中

第10回は「一つの神・二つの世界・二つの言葉」世界恒久平和の実現」と題し増井さえ子 エスプレント普及会理事を講師として、10月26日(第4水曜日)午後7時より人類愛善会大阪チャンネルで配信しています。未信徒の方、家庭内未信者、未自覚信徒の聴講をお勧めください。(宣教部)



増井さえ子 講師



YouTube「人類愛善会大阪」チャンネルで配信中

### 「令和4年生きがい公開講座」予告

11月 出口三三郎の救世の世界(地味国実現、浅田 秋彦 人類愛善会) 12月 出口三三郎の示す「みくろの世」(世界恒久平和の実現、未延 隆利 大本大阪本苑特任宣伝使) 配信は、第4水曜日午後7時から開始

### 秋のレクリエーションのご案内

秋のレクリエーションの詳細が決定しましたので、集合時間、持ち物等をお知らせします。目を通していただき、内容をご確認下さいますようお願い致します。

【開催日】11月23日(水・祝) 午前8時30分(大阪本苑集合)

【開催場所】和歌山松山とミカン山 【参加費】少年、青年、保護者無料 一般1000円

【解散時間】午後5時頃(本苑にて解散予定) 【持ち物】弁当、飲み物、レジャーシート

※虫さされに弱い方は長そで長ズボンが望ましいです。 【締切】11月20日(日) 後継者育成の一端を担えますように、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

### 第6回全国誠心会会長会議

第16回誠心会会員研修会 【実施日】11月26日(土)〜27日(日) 【時間】(受付)1時30分(開会)13時30分(昼食が必要の方は食堂自己負担になります。)

【集合場所】豊岡市天恩郷みろく会館1階ホール 【参加費】3000円(但し、研修補助として大阪本苑誠心会から半額負担させていただきます。)

【服装】「久兵衛池」献勞奉仕作業があるため、適した服装をご用意ください。長袖、長ズボン、帽子、手袋、着替え等。

【申込】分所支部への記入要領書に携帯番号をご記入いただき、大阪本苑誠心会にFAX(06・66651・6611) お願い致します。

【締切】11月11日(金) 1分所支部から必ず、1名以上を送り出して戴きますよう、謹みてお願ひ申し上げます。 大阪本苑誠心会

### 人型おすすめ活動開始

今年も節分人型おすすめ活動が始まりました。国祖のご再現を寿ぐと共に、全世界の大難を小難にみ救い頂くために、多くの方々へ人型・型代をお勧め致しますよう。

◎全国人型活動推進祈願・おすすめ活動の日 令和4年11月23日(水・祝)

◎全国人型おすすめ活動の日 (個人活動の日) 令和4年12月11日(日)

令和5年1月9日(月・祝)

### 大阪本苑年末大掃除

12月4日(日)午前9時より本苑の年末大掃除を行います。今年一年の感謝をこめ、新年を清々しく迎えられますよう多数のご奉仕をお願い致します。 昼食は本苑で用意させて頂きます。

### 神籬・大麻作成講習会のご案内

12月11日(日)大阪本苑月次祭終了後、神籬・大麻作成講習会を開催します。新調され、清々しい新年を迎えて頂ければと思っております。ご希望の方は、事務所まで申込み下さい。

### 開祖聖誕祭選擇祭のご案内

12月16日(金)午前10時より大阪本苑に於いて開祖様聖誕祭を執行いたします。ご参拝をお待ちしております。

### 尊師毎年祭選擇祭のご案内

12月25日(日)午前10時より大阪本苑に於いて尊師毎年祭選擇祭を執行いたします。ご参拝をお待ちしております。

### 人型ご神徳談の募集

宣教部では、節分の人型を受けられた方のおかげ話を本苑だよりで紹介させていただきます。ご神徳を分かち合い、一層のおすすめ活動に励ましていただきたいと思います。

文章の長短は問いませんので、本苑事務所までお寄せください。

### 冠沓句の募集

毎月冠沓句の募集を致します。句題は毎月次祭時に発表。

(毎月次祭時、讃美歌の裏面に、句題をのせます) 次月の月次祭時に入賞者を発表します。賞品あり。用紙は自由です。(FAX可)

分所・氏名をお書き下さい。 締め切りは月末です。沢山のご応募をお待ちしております。 芸術部

◆11月の冠沓句句題◆ 冠句 いわし雲、ともかくも、われよしの沓句 まねをする

(10月の冠沓句)(敬称略) 冠句 眺むれば、今日こそは、晴々と沓句 涙ぐむ 集句 28句

天位 橋本 早苗 晴々と歡ぎにひかる教主様のもひ

### 大阪本苑常設講座のご案内

大阪本苑では、毎月2〜3回土曜日に『大本常設講座』を開催しています。未信徒・家庭内未信徒のお誘い合わせ宜しくお願ひ致します。

○午前10時より 『身の上相談』 ○午後2時より 『生きがい講座』 ○午後3時半より 『み手代お取次』

※一部の参加だけでも構いません。 参加費無料。お気軽にご参加ください。

【開催予定日】 11月19日・11月26日 12月3日・12月17日・12月24日

# ●11月～12月(一部)行事予定

11月13日(日)	<b>本苑月次祭・七五三</b> 分所支部長会議 文化教室(お茶、謡、着付け、エス語入門、役割拝読会)	AM 10:00
15日(火)	祭服クリーニング 大阪本苑書道部 エス語講習会(初級文法)	AM 11:00 PM 1:00 PM 2:00
17日(木)	謡「大本心謡会」	PM 2:30
18日(金)	宣教会	PM 8:00
19日(土)	常設講座「死んだらどうなるの」 松山献勞	AM 9:00
20日(日)	分所支部月次祭	
23日(水)	<b>秋のレクリエーション</b> お茶 生きがい公開講座【配信】	AM 8:30 AM 10:00 PM 7:00
24日(木)	浄書【中止】	PM 2:00
25日(金)	エス語同好会 参事会	PM 2:00 PM 7:00
26日(土)	常設講座「人は何のために生きているの」 <b>乙姫様月次祭</b>	PM 1:00
12月1日(木)	謡「大本心謡会」	PM 2:30
2日(金)	運営委員会	PM 7:00
3日(土)	常設講座「神と人との関係」 松山献勞 近畿第2教区連絡会議	AM 9:00 PM 1:00
4日(日)	本苑大掃除	AM 9:00
6日(火)	松山献勞 エス語講習会(初級会話)	AM 9:00 PM 2:00
7日(水)	お茶	AM 10:00
8日(木)	<b>乙姫様月次祭</b> 霊界物語拝読会 謡「大本心謡会」	PM 1:00 PM 2:00 PM 2:30
9日(金)	宣教会	PM 8:00
10日(土)	短歌会 誠心会幹事会 メディア制作室配信準備 生きがい公開講座収録 祭典リハーサル	PM 1:00 PM 1:30 PM 3:00
11日(日)	<b>本苑月次祭</b> (準備・掃除)花園・天満・玉川 分所支部長会議・総代会 神籬・大麻作成講習会・人型おすすめ活動 文化教室(お茶、謡、着付け、エス語入門、役割拝読会)	AM 10:00

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により変更になる可能性があります。



「手がた」  
二代教主さま



絵付中皿  
三代教主さま



【一作】 出口扉雄  
【作品名】 短冊「神霊」  
【サイズ】 H360×W60

## 本苑所蔵 お作品紹介

スマホをお持ちの方は各QRコードを読み取りご利用ください。

ホームページ



大本大阪本苑



大本大阪本苑



人類愛善会大阪

「新型コロナウイルス感染症防止のため、本苑の「祝詞と讚美歌」の使用をしばらく中止します。つきましては「マイ祝詞・マイ讚美歌」をご持参ください。」

マイ箸  
マイボトル  
マイバック  
マイ祝詞・讚美歌

## SDGs

貧困に終止符を打ち、地球を守り、環境を保護し、全ての人が平和と豊かさを享受することができるよう「誰一人取り残さない」  
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 令和5年1月月次祭から直会再開します

## 神饌物献納御礼

10月祭典(本苑乙姫様)には左記の方々より神饌物を献納頂きました。厚く御礼申し上げます。

## ●み手代お取次

- 11月月次祭 塩谷 幸人 宣伝使
  - 12月月次祭 吉岡 陽子 宣伝使
  - 1月月次祭 那須 眞太郎 宣伝使
  - 2月月次祭 近藤 寿 宣伝使
  - 3月月次祭 野口 昌則 宣伝使
  - 3月春季慰霊祭 浅田 信 宣伝使
- ※お取次ご希望の方は事務所まで申し出て下さい。

## 本苑日誌(10月)

- 1日 常設講座 松山献勞(8人)
- 4日 エス語講習会(6人)
- 5日 お茶(10人)
- 6日 松山献勞(8人)
- 8日 霊界物語拝読会【中止】  
謡「大本心謡会」(2人)  
教主さま「作陶選展」  
短歌会【中止】(出詠者16人)  
誠心会幹事会
- 9日 メディア制作室配信準備  
祭典リハーサル  
本苑秋季大祭祭(155人)  
教主さま「作陶選展」  
分所支部長会議  
文化教室【中止】
- 10日 教主さま「作陶選展」  
生きがい公開講座収録
- 11日 祭服クリーニング  
大阪本苑書道部(10人)  
謡「大本心謡会」【中止】  
常設講座
- 15日 松山献勞(7人)
- 16日 分所支部月次祭  
霊界物語全国一斉拝読会  
エス語講習会(6人)
- 21日 宣教会
- 22日 常設講座
- 26日 乙姫様月次祭(55人)  
生きがい公開講座(配信)
- 27日 お茶(10人)
- 28日 浄書【中止】  
謡「大本心謡会」(2人)  
エス語同好会(6人)  
参事会
- 29日 松山献勞(5人)
- 30日 祭式講習会(8人)  
祭式講習会(8人)  
葬祭研修会(13人)

## 帰幽報告(令和4年10月)

宣伝使 早川 勝 毘古 (天満分所)  
10月28日 帰幽 享年 80歳  
つつしんで哀悼の意を表します。